

# 天明まちづくりセンターだより

発行/熊本市南区天明まちづくりセンター 〒861-4125 熊本市南区奥古閑町 2035 ☎096-223-1117 FAX096-223-3275

## 「肥後流投網 合わせ打ち」

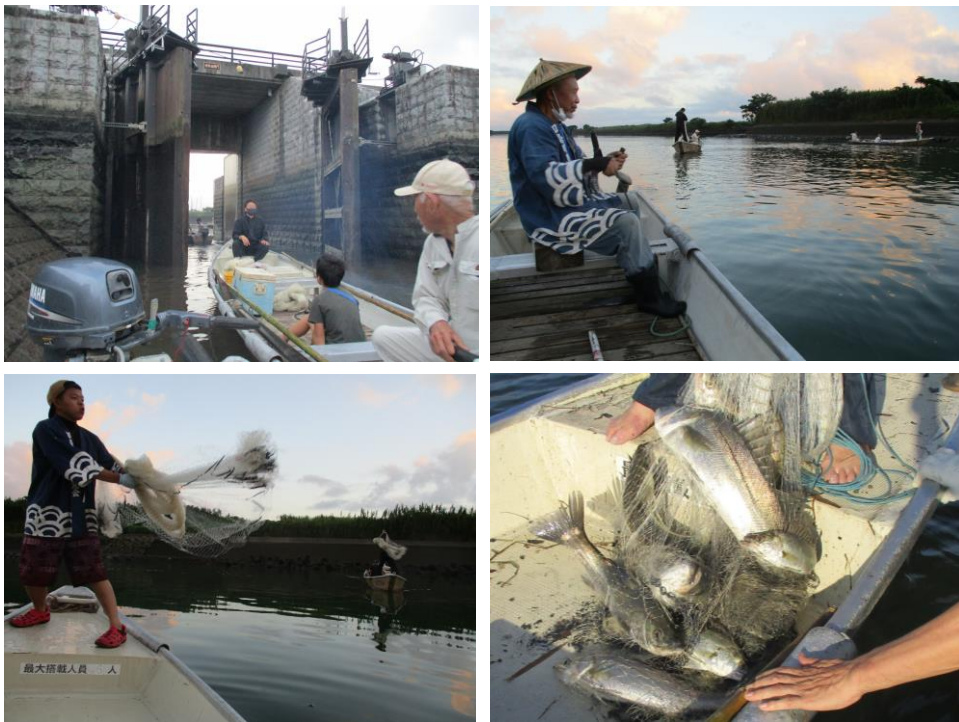
8月29日、緑川下流域において加勢川開発研究会による、伝統漁法「肥後流投網(とあみ) 合わせ打ち」が行われました。

「合わせ打ち」は、毎年8月最終日曜日に行われており、当日は早朝より4隻の船で出発し、合わせ打ち漁法を実演しました。

合わせ打ち漁法とは、肥後流投網による伝統漁法で、4隻以上の舟が川岸から中央に向かって魚を追い込み、網手と船頭が呼吸を合わせて一斉に網を打つ漁法で、全国的にも珍しい漁法とのこと。当日は天候にも恵まれ大漁となりました。

同研究会は、このような伝統漁法の継承や、子どもからお年寄りまで幅広く参加できる事業・イベントを通じて、地域の方々の交流や連携を深めることで、「住みやすい地域」づくりに尽力されています。

また、自然にふれあうことで、自然の大切さや、熊本の恵まれた水資源・水環境の大切さを知るきっかけづくりにも貢献されています。最近ではコロナ禍でお家時間が増え、自然と触れ合う機会も少なくなってきました。今年度の「合わせ打ち」はコロナ禍の影響で、見学募集はありませんでしたが、興味のある方はぜひ来年度参加しませんか？



## ふるさとの鳥シリーズ(5)カワセミ

カワセミは水辺に生息する小鳥で、全身青みがかかった鮮やかな緑色をしている。目の下、胸から腹にかけて橙色だ。長いくちばしもカワセミの特徴である。「青い宝石」と言われるぐらい美しい鳥で、鳥に興味がある者にとっては、あこがれの鳥である。



カワセミは、上江津湖に行くと、ほぼ毎日見ることができる。上江津湖は阿蘇の伏流水が湧き出すところで、透き通った水の中には小魚がたくさんいて、カワセミにとっては絶好の餌場である。

特に、上江津湖の一か所に杭が突き出し、カワセミがダイビングしてえさを取りやすいポイントがある。ここでは、カワセミが小魚を捕まえる様子を、間近に観察することができる。

天明でも、天明新川、加勢川、内田川、千間江湖等、いろんなところで見ることができる。最近では、田んぼの間の排水溝でも、時々遭遇する。「チーッ」と鳴きながら飛んでくるのですがすぐ気づく。しかし、あっという間に、一直線に飛んでいってしまう。カワセミの姿を、しっかりとらえることはできない。川岸の木に止まっている時もあるが、人間より先に気づき、飛び去ってしまうのが常である。



令和3年1月16日、ぽかぽか天気のウォーキングにはもってこいの日であった。のんびりと田んぼ道を歩いていると、目の前の排水溝で、青い小鳥がふわっと飛び上がった。「あっ カワセミだ」と姿を追うと、すぐ近くの排水溝に突き出

している暗渠排水のためのパイプに止まった。カワセミは、しきりに下を伺っている。そして、突然、真逆さまに水の中に突っ込んだ。小魚めがけてのダイビングである。すぐ橙色の腹を見せ、ブルーの背中を見せて飛び上がってきた。反対側のパイプに止まったが、残念なことに、小魚はくわえていなかった。

その日のカワセミはめずらしく、私を気にすることなく小魚をしばらく探していた。ブルーの背中を見せて飛び去った後、急いで携帯パソコンを見ると、くちばしの下部が赤い。メスのカワセミだったのだ。一日中うきうき、楽しい日であった。 [紹介者:白河部健さん]

ハチマルニイマル

## 「8020 推進員育成講座」受講生募集!

8020推進員とは、80歳で20本以上の自分の歯を残し、一日3度の食事を楽しく・美味しく食べて、健康でいきいきと暮らすことを目指した「8020運動」を推進する市民ボランティアです。天明地域は、10名の8020推進員さんが登録され、保育園や小学校等、身近な地域で楽しく活動されています。本講座で学んだ知識や技術を家族や近隣の方々に伝え広め、南区職員と一緒に地域の健康づくり活動に参加してみませんか。

期日 9月~11月(全3回)1回目は在宅学習となります。2回目は10月22日の予定です。

内容 口腔や全身の健康づくりに関する講話、実技等

場所 南区役所

対象 南区に住む18歳以上の方で講座修了後、健康づくり活動に参加できる方

定員 20名(先着順)

費用 無料

お申込みや問い合わせは、南区保健子ども課 平松、釘島(☎357-4138)へ



(保育園では紙芝居等で歯の大切さをPR)

